

## 寄書

畫を學びて得たる顯著なる利益

相模 國水 生

僕が畫を學び始めてから、得たる利益と云ふものは、澤山あります、けれども、それは恐く僕一人ではない、誰でも、畫を學ぶものゝ、必らず得らるる利益であるだろうと思ふから、細かな事は話さずに、こゝには、其の影響を他に及ぼしたと云ふ事を一寸申して見やうと思ひます。

それは即ち家庭に美的趣味を興へたと云ふ事です、かく申上げると、何だか家庭残らずが美術家にもなつたかと思ふかも知れませんが、決してそんな大袈裟な事ではない、只比較的畫を見る脳頭が出来たかと思ふ位なのです。一鉢僕は、寫生をして歸ると其の畫を二三日間位は必らず床の間に掲げて置くを例としますので、所でチヨイチヨイ、暇ある毎に見る、スルト、追々缺點の有る所が発見せられて、再び同一の失敗を取らぬ様に工夫するとか出来て大に都合がよいだからいつもそうする、従がつて、無關係な家族のもの迄が、常に繪を見るとが

出来て知らず／＼の内に繪と云ふものゝ觀念を彼等の頭に注ぎ込んだのであります。最も時によると、是れは何所の森である、彼所は何々の村である、など申して、説明をしてやることもあつたのですが、かういふ風で、遂には彼等の目が進んで来て、折々は、批評などをやらかすものが出て出ました、そこで、近頃では一層其趣味を感じて来たと思つて僕が寫生から歸るが否や、直様集つて来て、今日は何處を歩いて来たのですなど云ひ合ひて一刻も早く作品を見たいと云ふ念が顯はれ頗る楽しくなつて来ました、夫放此期を外さず旨く其趣味を家庭に於ての種々の方面に利用したら、將來望あるホームが作られ様かと思ふのであります、勿論僕等の腕前では到底行くは行かないが、マーやつて見る積りなのです。以上が僕に取つて畫を學びて得たる一大利益なのであります。

始めて三脚を購ふ諸君へ

川原 星 山

私は今年の春三脚床几を壹圓三十錢にて買ひました、然し三度買ひ損じました、依て爾來始めて買わるゝ諸君に御注意申しませう、即ち第一、革の棒に常る部分が二重に縫つてあつて且その近所にて糸の繼ぎ足の

なきものを撰ぶことが必要です。これがあると直に抜けて破れてしまひます。又購ふ時に若し直ぐ破れたら無料にて修繕して呉れる様約束をなさい。第二、少しは駄裁悪しくも眞鍮製のよりも鐵製の心を御買になつて居るのはいけません。其の筋の處よりそげて折れます。私は一ヶ月前に十二社附近で寫生中に折れてそれが爲め新に三本を購ふの止むを得ざるに至りました。

## 各地寫生會

パシファイツク會

所在東京市芝區愛宕町一丁目二番地川原方名譽會員大倉商業學校講師田崎先生、普通會員同校生徒土岐光太郎、三木儀八郎、武田季次、澤田秀雄、宮田勝之助、川原睦次郎、外高橋岩雄、創立明治三十八年十月。月一回展覽會を開きて投票批評をなし大下先生の許へ持參、尙批判を乞ひ、雜誌に綴りて會員順次に回覽せしむ。(川原睦次郎氏報)